

ヤマトグループ賛助会員向けニュース 発行部数12万部

ヤマト福祉財団

創刊号

Yamato Welfare
Foundation

2004 Winter

NEWS



小倉昌男理事長に聞く！
福祉のこと。障害のこと。
ヤマト福祉財団のこと。



小倉昌男 ヤマト福祉財団理事長

ヤマト福祉財団設立の 本当のきっかけは？

司会 本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。今年から「ヤマト福祉財団ニュース」を発行することになりました。小倉理事長に障害のことや財団の活動のことなど、どんどん聞いていただければと思います。深町さんは理事長にお会いできたなら、どうしてもお聞きしたかったことがあるそうですね。

深町さん 西埼玉主管の深町です、よろしく申し上げます。理事長の本を拝見しますと、ヤマト運輸の会長を退かれてから、財団を創られた特別の理由は何もない、と書かれています。福祉に取り組もう、障害者を支援しよう、と決意された出来事、きっかけは何なんでしょうか。今日は、本にも書かれていない本当の理由をぜひ、お伺いしたいと思います。

理事長 よく聞かれるんですよ、何かあるだろうと。身内や知り合いに障害者が

interview 1

5万人の賛助会員が、
支えてくれてるから
ヤマト福祉財団は、
しっかり活動できてる。
障害者のお役に立つ
ことを堅実にできる。
本当にありがたい。

いるんじゃないかとか。そうじゃないんですよね。自分も元気だし。乙武洋匡さんが「五体不満足」という本を出されましたよね。ヤマト福祉財団を設立した後の話ですが、本当にびっくりしました。両手両足がなくて生活している、頑張っている。障害者の方はたいへんなんじゃないかな、少しでも応援したいな、財団を創って良かったなと思ったものです。純粹に障害者の方を応援したいなと思ったのが、偽らざる動機です。本当にそれ以上でも、それ

以下でもありません。一般の人は、障害者のことをあまり知らない。知的障害者、身体障害者、精神障害者の3種類に分かれている。なぜ、そういう風になっているのかというと、法律が先にあるからです。同じ障害者なのに全く扱いが違う。身体障害者は、戦争の犠牲者が中心だったので、手厚く保護されるようになっていきました。知的障害者には、後から法律ができました。知的障害者は、嫌な言葉ですが、昔は精神薄弱と言われていたんです

ね。同じ障害者なのに、法律で扱いが違ってきている。私たちは、同じ障害者として、等しく支援して欲しいと思います。ハンセン病に対する差別、誤解も本当にひどい話です。手足の先がダメになるのではなく、神経がダメになってしまったり、手足をぶついたりして結果としてダメになってしまふ。副作用なんかない。世間は誤解している。昔のことですが、ハンセン病になると名前を世間から削られてしまった。戸籍も名前も変えられる、存在を全否定されて、療養所に強制的に入れられる。何度でも言いますが、本当にひどい話です。残念ながら、いまだに偏見があります。

深町さん 私もハンセン病のことは、理事長の本を読んで初めて知りました。

前田さん 北海道支社の前田です。理事長にお伺いします。ヤマト運輸では、企業姿勢の一番目に障害者の自立支援を掲げていますが、「障害者の自立を支援する」というのは、具体的にどういうことなのでしょう。教えてください。

理事長 働けば給料をもらえる。給料がないと生活できませんよね。働いて自分で生活するということが、自立なんです。ところが、障害者には働く場がない。本当にかわいそうだ。働く場を見つけてあげたい。ヤマト運輸が障害者を社員

として迎えれば、非常に喜んでもらえる。北海道は障害者雇用に関心を入れていまして、九州も、北海道に負けるなというところで、力を入れている。北海道と九州で障害者雇用の競争をしている。いいことですね。ヤマト運輸は、いい会社だと思っています。

財団が、していることを具体的に話しましょう。

庄司さん 大阪主管の庄司です。去年、大阪の心斎橋にもスワンがオープンしました。どうしてパン屋さんを始めようと思われたのでしょうか。

理事長 偶然だったんですよ。アンデルセン、リトルマーメイドを展開しているタカキベーカーリーさんでは、お客さまのクレームにどう対応するかということが問題になっていました。ヤマト運輸はたくさん宅急便を扱っているのに、クレームが少ないクレームの処理もスマートだ、ぜひ教わりたい。ということで、社内報で高木社長と対談することになったんです。対談の後で障害者の働く場として、パン屋がいいと思つていらっしゃるがとお尋ねしたんです。それはいいと高木社長から、パンの焼き方から販売の仕方まで全部教えますと、おっしゃっていただいたんです。いい方と知り

合つたなと思います。現在、11店舗ですが、もつともつとスワンを増やしていきたいですね。庄司さんは、心斎橋のスワンには行かれましたか。

庄司さん はい、パンもおいしかったです。コーヒーがとてもおいしかったですね。今日は、せつかく東京に来たので、スワンカフェ銀座でお昼をいただきました。おしゃれな店ですね。外からもシェフが作っているのを見て、いい雰囲気のお店ですね。

理事長 皆さんは、好きな時に好きな人とデートができるでしょうが、障害者は難しい。まず相手を探すのが難しい。経済的なこともある。かわいそうだと思う。

障害があるなしに関わらず、働き、好きな人とデートしたり、友達と会ったり。それがノーマライゼーションだと思う。ヤマト運輸はノーマライゼーションを拡げようと頑張っています。初めて障害者の人が配属された時、支店長も随分、気を使つたと聞いています。今は変な気遣いをすることなく分け隔てなく接しています。北海道では自閉症の人が、ヤマト運輸に入つてフォークリフトの免許を取つた。皆さん存じのように、ヤマト運輸は国の免許の他に、社内免許という非常に厳しい基準がある。福岡の物流でも、障害者の何人かがフォークリフトの免許を取つてい



深町初江さん
西埼玉主管支店 コールセンター 昭和59年入社



ますね。いいことだと思っ。意欲を持つてやっていますね。

前田さん パワーアップセミナーでは、どういうことをしているのでしょうか。なぜ、そういうことを始めようと思われたのでしょうか。

理事長 調べてみたんです。障害者がどういう風に働いて、どのくらい給料をもらっているのか。そうしたら、月給1万円!

わかりやすく言っているだけであつて、月給2千円の人も、5千円の人もいる。想像を超えた世界ですね。どうしてそうなっているかという、支払い能力が無いんですね。払いたくても払えないんですね。だから経営の勉強をしていただかなければと思つたんです。作業所の経営者や職員に来てもらつて、毎年パワーアップセミナーを開催することにしたんです。ヤマト福祉財団では、一番大きな事業です。基本的には2泊3日、去年は7地区、各地区で、専門の人を講師にお招きしてやっています。夕食にはビールもつきます。ふだん障害者の世話をされてい

る皆さんに、ご苦労さんという感謝の気持ちも込めてね。セミナーで一番最初に僕が言うことは、金儲けで成功した人に教えられるのは心外だと思つているかもしれないですが、そんなことはないですよ。金儲けにもいろいろな金儲けがあるんですよ。企業は利益を出さなければいけませんから、宅急便は金儲けのためにやっていますが、それだけではありませんよ。便利、



庄司延子さん
大阪主管支店 営業企画課 平成13年入社

こんなサービスがあつたらうれしいな、それが宅急便というサービスですよ。世間の人に、便利なサービスをありがとうと感謝されて、その結果として会社に利益が出る、お金が儲かるんですよ。福祉に、金儲けに卑しいという誤解を解いて、月給1万円から脱却するために、利益を出していただきたい。儲けてください。そう申し上げます。

庄司さん ヤマト福祉財団賞は、どんな方が受賞なさっているのでしょうか。また、どのようにして選ばれているのか教えてください。

理事長 毎年2人、12月9日障害者の

日に差し上げています。去年で4回目になります。正賞は、お母さんが赤ちゃんを抱いているブロンズ像、「愛」という名前がついています。日本芸術院会員の兩宮淳先生という大変有名な先生が、ヤマト福祉財団賞のために作ってくれた作品です。副賞は、100万円です。毎年、りっぱな人が受賞されています。1回目の方から全部ご紹介したいんですが、話が長くなつてしまいますので、去年の受賞者のお話をしましょう。沖縄でメール便のメイトさんをやっている永山盛秀さんを選びました。メール便の仕事をやって、障害者が働けるように頑張つている。沖縄という所は



前田志麻さん
北海道支社 人事担当 平成13年入社

犬が多いそうで、メール便を配る人と犬を手なづける人が、いつしよになつてやつているんです。いい人が推薦されて良かったと思います。もう一人は、東京 恵比寿で「おかし屋ばれつと」をやっている谷口奈保子さん。ヤマト福祉財団がスワンペーカリーを始めるよりずっと前、20年近く前から障害者によるクッキー作りを、やってきた人です。おいしくて有名です。スリランカの人が働いている居酒屋もやっている。ばれつとの作業所をスリランカにも作つて、日本の障害者が、スリランカの障害者に教えるに行っている。クッキー作りを指導しています。選考方法は、全国から優秀な

人を推薦してもらっています。選考委員会で審査するんですが、これが難しい。素晴らしい人がいっぱい、いらつしやるから。毎年選ぶのに、本当に苦勞しています。

前田さん 助成事業のなかに、障害のある大学生への奨学金があるんですが、詳しい話をお聞かせ願えればと思います。

理事長 障害がある方が頑張つて大学に行くというのは、偉いことだと思う。何とか応援してあげたい。障害者はお金がかかります。周りの人にいろいろ助けてもらうことが多いでしょう。親切にされたら、お礼をしたいと思う。お礼するにもお金がかかるでしょう。だから奨学金

を差し上げています。月に5万円、年間60万円。貸与ではなく供与、返済しなくてもいいカタチにしています。とても喜んでいただいています。

賛助会員の皆さんは、財団のサポーターです。

庄司さん 私たちヤマトグループの社員は、賛助会員になっていますが、賛助会費はヤマト福祉財団の活動に具体的に、どのように役だっているのか教えてください。

理事長 本日に賛助会員の皆さんには、感謝しています。財団というのは基金があつて、その運用益を活動資金に当てています。ご存じのように日本は超低金利ですから、どの財団も困っています。ヤマト福祉財団は、ちゃんと活動できています。賛助会員制度があるからです。個人5万人、法人会員は34社です。賛助会員5万人の財団は、日本中どこを探しても無いですよ。それだけに無駄なことは絶対にできないと、いつも肝に銘じています。それに賛助会員は、全国におられる。これは心強い。例えば、助成金の募集でも、近所やお知り合いの作業所やボランティア、障害者をどんどん紹介していただけたら、大変ありがたい。いつしよにできることが、他にもいっぱいあると思います。



司会 本田洋市
ヤマト福祉財団 マネージャー

深町さん 理事長への質問ではなく、ぜひご報告したいことがあります。去年の春だつたと思いますが、私の娘が29才になるんですが、週刊誌の女性セブンに理事長の記事が載っているのを見つけて買ってきたんです。「お母さん、涙が無くては読めないよ」と言うんです。「クロネコヤマト創業者、障害者と始めた笑顔のパン屋さん」という見出しだったと思うんですが、本当に感動しました。私はコールセンターで教育担当をしています。記事の出ていた女性セブンを10冊買ってきて、新人研修に使っています。宅急便を創った方は今こういうことをしています。そういう会社で働き、私たちは給料をもらっているんですよ、言っています。

理事長 恥ずかしい。でもうれしい話ですね。

司会 今日は、いい話をたくさん聞かせていただきました。本当にありがとうございます。

お知り合いの施設を ご紹介ください。

今までヤマト福祉財団は全国の社会福祉協議会を通じて助成金募集を行ってきましたが、今年から社員の皆さんにも、ご協力いただきたいと思っています。困っている作業所や障害のある大学生を、ぜひヤマト福祉財団にご紹介ください。なお多数の応募が予想されますので、必ず選考されるとは限りません。

申請書は、2月初旬以降、ヤマト福祉財団のホームページから取り出せる予定です。

平成16年度障害者福祉助成金 申し込み募集のご案内

1. 助成対象事業（障害者の自立と社会参加及び生産力アップなどに直結する事業を対象とします）

(1) 一般助成

- ① 障害者施設の改善、整備、備品等の購入に対する助成
- ② 各種会議、講演、研修事業に対する助成
- ③ 各種出版、啓発活動等に対する助成
- ④ 各種調査、研究事業に対する助成
- ⑤ 文化事業、スポーツ活動等に対する助成

(2) ボランティア活動助成

- ① 各種会議、講演、研修事業に対する助成
- ② 各種出版、啓発活動等に対する助成
- ③ 文化事業、スポーツ活動等に対する助成

(3) 障害のある学生に対する 奨学金の供与

2. 助成金額（2月の理事会で総額を決定）

(1) 一般助成

……………一件当たり上限額 100万円

(2) ボランティア活動

……………一件当たり上限額 30万円

(3) 奨学金……………月額5万円 （年間60万円、返済の必要はありません）

3. 申し込み受付期間

平成16年3月1日～3月31日（ただし、奨学金の給付受付は5月10日）消印有効（予定）

4. 選考結果のご通知

当財団の選考委員会で選考し、その結果を文書で通知します。

5. 申し込み方法及び助成金の交付期間等は、ホームページでご確認いただくか、全国支部長またはヤマト福祉財団までお問い合わせください。

主な助成金供与先

施設の改修・備品購入	89ヶ所	52,230,000円
会議・講演会・研修	8ヶ所	2,370,000円
出版・啓蒙活動	3ヶ所	1,850,000円
調査・研究活動	2ヶ所	2,000,000円
文化・スポーツ活動	3ヶ所	1,150,000円

障害のある
大学生への奨学金 34名×
年額60万円 20,400,000円

平成15年度、障害のある大学生の 奨学金供与先（入学されている大学名）

フェリス女学院（女）／大阪市立大学（女）／亜細亜大学（男）／名城大学（男）／皇学館大学（女）／岡山県立大学（女）／日本福祉大学（男）／九州東海大学（男）／日本福祉大学（男）／日本福祉大学（女）／佛教大学（男）／鳥取環境大学（女）／大阪大学（男）／中部学院大学（女）／東京理科大学（男）／日本社会事業大学（男）／花園大学（男）／四国学院大学（男）／名古屋大学（男）／神奈川大学（男）／西南女学院大学（女）／東洋大学（男）／佐賀大学（女）／聖隷クリストファー大学（男）／東京国際大学（女）／神戸市外国語大学（女）／花園大学（男）／四国学院大学（男）／愛知みずほ大学（男）／宮崎公立大学（男）／静岡大学（男）／桜美林大学（男）／四国学院大学（女）／東京国際大学（男）

障害者 福祉 助成金

8千万円を助成 （平成15年度）

障害者施設、NPO法人、団体への助成や、障害のある学生への奨学金などに、平成15年度は、8千万円の助成金を支出しました。一般助成は、自立と社会参加に直結する事業を優先して、助成先を選定しています。障害のある学生には、貸与ではなく供与、返済不要な奨学金を差し上げています。

感謝のメッセージの一部を紹介します。

鳥取県 岸本町作業所「みらい」 佐藤正樹 所長

これまで内職の荷物（かさばるダンボール箱）の運搬に苦勞していましたが、ラクラク荷受けできるようになり、仕事の受注も増えました。雪の降る季節も4輪駆動車なので、安心して出かけることができます。メンバーの研修、レクリエーションも、電車、バスなどの公共交通機関しかありませんでしたが、これからは、どんどん社会に出かけることができます。本当にありがとうございます。



寄贈車は仕事に研修にレジャーに活躍中!

福島県 ワークセンター歩 阿部ミイ子 代表

念願だった店舗増築がかない、皮革製品をショーウィンドウに飾り展示できるようになりました。ただ並べておくのと飾りつけるのでは大違いで、多くの一般客が来店してくれるようになり、作品の売上げもアップし、注文も多くなりました。今までは、来客は関係者に限られていたのが、夢のようです。メンバーも大変喜んでます。本当にありがとうございました。



増築効果。外からも展示が見え、売上げもアップ!

▶左から、谷口奈保子さんのご夫君谷山政幸さん、受賞者の谷口奈保子さん、小倉昌男ヤマト福祉財団理事長、受賞者の永山盛秀さん



▼写真中段左・中/小倉昌男 ヤマト福祉財団理事長

中段右/堂本暎子 千葉県知事

下段左/厚生労働省 職業能力開発局 坂本由紀子局長

下段中/日本障害者協議会 河端静子代表

下段右/左から山崎篤ヤマト運輸株式会社代表取締役社長、小倉昌男理事長、有富慶二ヤマト運輸株式会社代表取締役会長、受賞者の谷口奈保子さん



第4回 ヤマト 福祉 財団賞

2003年12月9日(火)日本工業倶楽部で、大勢のご来賓の方々にご出席いただき、第4回「ヤマト福祉財団賞」贈呈式並びに祝賀会が開催されました。今回の受賞者は、特定非営利活動法人ぱれっと理事長谷口奈保子さん、わんからセンター相談員永山盛秀さんの2人に決定いたしました。

受賞者のご紹介



特定非営利活動法人
ぱれっと理事長

谷口奈保子さん

知的障害者によるクッキー作りのパイオニア。東京恵比寿で1985年、誰もが売れるはずがないと反対する中、「おかし屋ぱれっと」を設立。能力のある障害者を発掘、積極的に登用。現在は平均7.8万円の給料を支給できるまでに。1991年には障害者、健常者、スリランカ人が働く「香辛酒房ぱれっと」をオープン。1993年には暮らしの場「えびす・ぱれっとホーム」をつくる。1999年には、スリランカに障害者が働く作業所「Palette」を設立、クッキー作りの指導に日本の知的障害者も派遣。ユニークな国際交流プログラムとして、内外から注目を集めています。



東京・恵比寿にある「おかし屋ぱれっと」

クッキー作りに動んでいる皆さん



受賞者のご紹介



わんからセンター相談員

永山盛秀さん

障害者が主人公となり、自立と納得のいく社会参加をめざして、雇用環境の厳しい沖縄で、ビル清掃、警備、名刺印刷など、仕事探しに尽力。最近では、クロネコヤマトメール便のメイトさんの仕事に全力を上げています。障害者が集団でチームを組み、分担エリアを担当。お客さまからは感謝される喜びを、セールスドライバーからは働く姿勢を学んでいるとのこと。犬の多い沖縄で、ペットフード片手のでなづけ役と配達役がチームを組み、今では半数の家庭の犬と仲良くなったとユーモラスに話す永山さんは、2001年に所長の座を当事者に譲り、相談員として活動しています。



メール便の仕分け作業をしている皆さん

すっかり犬と仲良しになったメイトさん



スワン ベーカリー

スワン カフェ&ベーカリー 赤坂店 浦山紀子さん

知的障害 平成13年11月入店
昭和51年生まれ

東京都知事賞受賞おめでとうございます。
平成13年11月の赤坂店オープンの中からスタッフとして活躍している浦山紀子さんが、平成15年度の技能競技大会優秀成績者知事賞をいただきました。第26回全国障害者技能競技大会の喫茶サービス部門において銀賞に輝いたことを受けての受賞です。東京都庁での授賞式は、うれしかったけれど、大勢の前で恥ずかしかったとのこと。スワンへの入店は、以前勤めていたネクタイ問屋が倒産、学校の先生に相談して勧められたことがきっかけとか。これからはスワンで頑張っていきたいと抱負を語っていただきました。



多くの障害者の自立と 社会参加を支援

スワンベーカリーは、多くの障害者の自立と社会参加を支援するために、ヤマト福祉財団、ヤマト運輸が中心になって設立されました。スワンベーカリー銀座店、スワンカフェ&ベーカリー赤坂店、スワンカフェ銀座店を直営する「株式会社スワン」が中核となって、パンの製造販売を行うフランチャイズ店の開設、運営等の指導、援助を無償で行っています。現在、直営、フランチャイズ合わせて全国に11店舗あります。



昨年末は、56,941個のクリスマスケーキをお買上げいただき、誠にありがとうございました。



(株)スワン
寺本正次 常務取締役

ヤマトグループ社員の皆さまのご協力により、昨年末は、56,941個のクリスマスケーキを販売することができました。(株)スワンを代表して御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



スワンベーカリー
銀座店・
スワンカフェ銀座店
藤野広一 店長

福祉の世界ではスワンカフェ銀座で待ち合わせすることが、ステータスになっています。



スワンカフェ&
ベーカリー赤坂店
増田秀暁 店長

本格的なマシーンに、コーヒー豆はシアトル空輸。エスプレッソはどこにも負けません。

スワンベーカリーに関する詳細な情報は <http://www.swanbakery.co.jp/>

北の大地からの贈り物、 ジャガイモ4トン!

北海道の豊かな大地で収穫されたジャガイモ(男爵・きたあかり)4トンが、玉手農場代表、玉手博章氏(北海道虹田郡留寿都村豊岡)から、ヤマト福祉財団に寄贈されました。きょうさん、スワンネットを通して、1箱25kg単位で、各施設にお贈りしました。



左から道祖土博ヤマト自立センター設立準備委員会代表、門脇悠営業部長、矢野龍彦総務部長、党大和常務取締役

Pick up Information ①

スワンネット

ヤマトグループの障害者を支援する商社会社として、平成13年4月にスタート。野菜を農家から仕入れ、障害者作業所に小分けして卸しています。52ヶ所(平成15年11月末現在)の作業所が、ジャガイモ、タマネギの販売に取り組んでいます。季節商品や草花にもチャレンジしています。

パワー アップ セミナー



熱心に耳を傾ける
セミナーの受講者
の皆さん



激論が続く夜のグループ討議

月給1万円からの脱却を目指して 昨年は全国7カ所で開催

1996年、小倉昌男理事長は全国の障害者が働いている共同作業所、授産施設に足を運び調査。ほとんどの施設で月給1万円以下という実態を知り、深い衝撃を受けました。施設の経営者が経済、ビジネスを知らないことに起因することに思い至り、施設経営者、職員向けのセミナーを構想。1996年度より毎年、共同作業所の活性化を目的に全国各地域において「パワーアップセミナー」を開催してきました。すでに2,700名を超え、方々が受講されています。このセミナーの講座のなかから、スワンベリーののような成功した事業体も誕生、着実に成果を上げています。日夜福祉に献身的な努力をされている方への感謝と、より多くの方に気軽に参加していただくために、2泊3日交通費、宿泊費、食事代含めて、受講料5,000円のみで参加していただいています。

▼全体会議のなかでの
分科会メンバーによる発表



▲作業所の製品をチェックする
小倉昌男理事長

小倉昌男理事長の基調講演



2003年度パワーアップセミナーは全国7ヶ所で、
200人の方に受講していただきました。

北海道	6月26日～28日	札幌グランドホテル
関東・北信越	7月10日～12日	高輪プリンスホテル
中国・四国	7月24日～26日	広島全日空ホテル
九州・沖縄	9月11日～13日	シーホークホテル&リゾート
東北	9月25日～27日	ホテルメトロポリタン盛岡
関西	10月9日～11日	リバーサイドホテル
中部・北陸・滋賀県	10月23日～25日	長浜ロイヤルホテル

Pick up Information ②

スワン製炭

ヤマトグループの障害者の自立支援を目的とした、炭の製造・販売会社として、昨年6月にスタート。福岡県「カリタスの家」「カントリーワークばんぐきん」「あらくさ」「どんぐり」の4ヶ所の障害者作業所に炭の製造を委託。「スワンの木炭」自社ブランドとして、九州の一部の宅急便センターでの店頭販売や、ネット販売を行っています。



左から清家秀文取締役、大串昭義総務部長

障害者雇用最前線

1 職場訪問

西東京第二物流システム支店

10名の知的障害の社員は、仕事はもちろん、社内行事にも積極的に参加しています。



鈴木康友さんは、集合写真撮影時に午後出社だったため、後日改めて撮影させていただきました。

写真/前列の左から古屋恵さん、長谷部圭さん
中列の左から大石真史さん、市川昭仁さん、高中祥宏さん
後列の左から関根真二郎さん、熊谷佳男さん、本間理夫さん、三森輝さん



出版関係を中心にした、封入・仕分け作業に欠かせない戦力として、毎日元気に働いています。障害者だからといって特別扱いすることはありません。社内行事にも、どんどん参加してもらっています。通勤も、昭島、八王子からネコバスを利用。遅刻・欠勤はほとんどありません。毎年、近隣の養護学校の生徒を対象にした、春・秋年2回の研修を約2週間にわたって実施。研修参加者のなかから採用しています。ここ数年で一昨年に1人退社されたくらいで、定着率も非常に高いですね。皆さんに共通していることは「真面目」「手を抜かない」「心が優しい」こと。大事な大事な職場の仲間です。

2 職場訪問

西埼玉主管支店

西埼玉主管支店コールセンター

小児麻痺の丸山徳一さんは、定年後も転籍・派遣社員として、後進の模範になっています。

丸山徳一さん 小児麻痺 平成4年入社 昭和17年生まれ



入社前は紳士服の注文製造の仕事をしていました。結婚を機に将来のことを考えた就職先を探していました。新聞広告でヤマト運輸の障害者募集を見て、入社しました。入社当初3ヶ月は事務配属されて向いていないので辞めようと思ったこともあり、上司に相談して旧三芳町営業所の集荷受付センターで電話受付、パソコン入力を担当、適職に付くことができました。平成13年度に60才で定年退職し、ヤマトスタッフサポートに転籍、派遣社員として現在の職場で働いています。健康者でも定年後の再就職は困難な時代なのに、とても恵まれています。ヤマト運輸に入社して本当に良かったと思います。

埼玉東松山物流システム支店

通販のロジステクスを担当している4名の知的障害の社員は、職場の人気者です。

左から野村大輔さん、川崎哲郎さん、相馬一幸さん、植田久さん



入社した時期や、年齢は違っても、抜群のチームワークで、皆さん活躍しています。シャンプー、リンスなどの箱作りをはじめ、通販のロジステクス作業を担当しています。上司の小野操、埼玉東松山物流システム支店長は、欠勤や遅刻もなく、真面目に仕事をやる職場に欠かせない貴重な戦力です、と話しています。いつも元気で明るい声であいさつする、職場の人気者です。以前勤めていた会社で深夜残業が続き、病気になって退職を余儀なくされたという川崎哲郎さんは、本当にいい職場に巡り会えた、お話を聞かせていただいている間も目を輝かせていました。

誤解、偏見、差別をなくそう。

ハンセン病の元患者のみなさんについて
正しく知ってほしいこと。

わかってほしい。 ふるさとへの想い。

全国ハンセン病療養所入所者協議会
中央執行委員 平野昭さんに聞く

栄養状態が十分でない時代、ハンセン病は乳幼児期に感染し、患者の多くが8歳から16歳頃に発症しました。そして家族と離れ離れとなり、療養所に連れてこられたのです。療養所では「来ることによって家族は助かったのだ。」と徹底的に教え込まれました。そのまま、隔離されて60年余、最後まで園にいるのもやむを得ない。せめてらい予防法を廃止してほしいと願い、今ではらい予防法も廃止され、国も隔離政策の誤りを謝罪しました。しかし、社会経験をすることのなかった元患者は、社会に出る気力を失ったままでした。そこで、愛知県の里帰り事業ではハイヤーを用意し一斉に向かった先は、子供のころに親と一緒に暮らしたふるさとだったのです。そして、皆、我が家のまわりを何度も何度も回りました。1年目は、それで終わりました。しかし、2年目は数組の元患者が家族と会うことができました。そして、これから3年目、今度は会いに行くという人が出てきています。

全国で行われる里帰り事業の一環として熊本県でも黒川温泉近隣出身の元患者について事業を実施しようとしたところ、宿泊拒否の事件が発生しました。高齢となった元患者の一番ののぞみは、ふるさとへ帰ることです。8歳から16歳のころに離れたふるさとへの想いが熱く残っているのです。

ハンセン病療養所の 全国配置図

※()内は平成14年5月1日現在の入所者数

※私立は2カ所、その他は国立です



国が政策の過ちを認めて裁判の控訴断念をもって、元患者の皆さんに謝罪した衆参両院の「ハンセン病問題に関する決議」から2年が経ちました。が、昨年、熊本県の黒川温泉にあるホテルが宿泊拒否を当然の判断として大きな波紋を社会に投げかけました。この宿泊拒否問題の発生原因を国や行政の責任にするのではなく、改めて個人・法人企業とも社会の一員としてハンセン病元患者の皆さんの苦しみから目をそらさず、被害回復・社会啓発について協力していくことが重要です。ヤマト福祉財団もハンセン病元患者の皆さんを支援して、被害回復・社会啓発に協力します。そして今回はヤマトグループ11万人の皆さんにこの「わかってほしい。ふるさとへの想い。」をお届けします。

- 〈親や兄弟姉妹と一緒に暮らすことができない〉
- 〈実名を名乗ることができない〉
- 〈結婚しても子供を産むことが許されない〉
- 〈一生療養所から出て暮らすことができない〉
- 〈死んでも故郷の墓に埋葬してもらえない〉

こうした生活をハンセン病患者さんは長い間強いられてきました。あなたは、想像できますか？

(厚生労働省発行:「わたしたちにできること」より)

ハンセン病の由来:ノルウェーの医師ハンセンが「らい菌」を発見したことから、ハンセン病と命名されました。昔は「らい病」と呼ばれ、患者は伝染するものと誤解されて不当に差別されてきました。



毎日、集配しているセールスドライバーの日下部さん



ハンセン病元患者が入居されている全生園。

※「元患者」の表現については、次回から「回復者」など、より適切な表現に改めます。

いま、いっしょに考えてください。

ヤマトグループが、できること。

厚生労働省は、中学生向け啓発パンフレット「わたしたちにできること」を724万部印刷し、中学生384万人を対象に配布しました。しかし、教育現場の連絡不徹底により、十分に配布されていない実態も分かっています。今回の事件により、大人向け啓発パンフレットの制作と配布の必要性も出てきています。不当な差別をなくすためにヤマトグループの社員の一員として、何かできることはないでしょうか。「わたしたちにできること」ヤマト福祉財団では、賛助会員の皆さまからの、「ご意見」「ご提案」お待ちしております。

ヤマト運輸の 誰にも便利な ユニバーサルサービス

1



「ゆうことかリンのバリアフリー・コミュニケーション」

芳賀優子・松森果林 共著
まんが・たけしま さよ
小学館 1,365円

お問い合わせ・お申し込みは最寄りの書店、またはブックサービス株式会社
TEL.03-3817-0711

プロフィール
芳賀 優子 (はが ゆうこ)

1962年福島県生まれ。ヤマト運輸(株)に勤務のかたわら、(財)共用品推進機構などで弱視の生活者の視点から表現、発言活動を続ける。「弱視OL奮戦記」(都市文化社)「弱視の人に会おう本」(小学館)「ゆうことかリンのバリアフリー・コミュニケーション」(小学館)ほか。



「電話一本で集荷します、宅急便の原点」

現在、宅急便部に配属されている芳賀優子です。私は生まれながらの視覚障害です。ヤマト福祉財団「ユースでコラムを担当することになりました。よろしく願います。会社に勤務するかたわら、障害者団体や他の障害者との交流があります。その時ヤマト運輸は、「こんなに便利なサービスをしている」「優子ちゃんの勤めている会社って、本当に便利！助かる！」という話をよく、耳にします。シリーズで紹介したいと思います。第一回目は、宅急便の最も基本的なサービスについてお話しします。「電話一本で集荷」これって当たり前のことだと思いませんか？ ちょっととそこまで荷物を持つて出かけることが、車椅子の人や高齢者にとって、どれだけ大変なことか。ちょっと想像力を働かせてください。あなたがスキーカーななかで骨折したとします。今日中に出さなければならぬ荷物があつたり、もし宅急便がなかったら、どうします？ 日本で始めて「電話一本で集荷」というサービスを創ったヤマト運輸は、素晴らしい会社だと思っています。

ヤマト運輸労働組合は、ヤマト福祉財団を全面的に応援しています。

小澤秀好 ヤマト運輸労働組合中央執行委員長

心身に障害のある人々の自立と社会参加を支援しているヤマト福祉財団の理念と活動に、多くの社員が共感しています。ヤマト福祉財団創立以来、組合は「夏のカンパ」を実施してきました。これは、言うまでもないことですが、組合が行っているというより、社員と財団の橋渡し役を果たしているに過ぎません。ヤマト運輸労働組合は社員とともに、ヤマト福祉財団をこれからも応援し続けます。



ヤマト福祉財団の全国支部事務長は、ヤマト運輸の社員です。ヤマト福祉財団の活動にご協力いただいています。

お疲れさまでした。



日下部陽子前事務局長が、平成15年12月末を持って定年退職いたしました。財団設立以来、長い間本当にありがとうございます。

よろしく願います。



前九州支部事務長の早川雅人がヤマト福祉財団事務局長に平成15年11月16日をもって就任いたしました。よろしく願います。



北海道支部
加藤房男 事務長
(北海道支社内)



東北支部
平井忠 事務長
(東北支社内)



東京支部
窪寺敏幸 事務長
(東京支社内)



関東支部
境野富士夫 事務長
(関東支社内)



北信越支部
加藤泰男 事務長
(北信越支社内)



中部支部
黒沢一誠 事務長
(中部支社内)



関西支部
富川宣臣 事務長
(関西支社内)



中国支部
竹下憲雄 事務長
(中国支社内)



四国支部
柳島憲行 事務長
(四国支社内)



九州支部
目野和彦 事務長
(九州支社内)



沖縄支部
六笠保裕 事務長
(沖縄ヤマト運輸(株)内)

賛助会員 個人49,504人 法人34社 (2003年7月末現在)

古紙配合率100%の再生紙とアメリカ大豆協会認定の大豆油インクを使用しています。

